

# 未来を拓く 世界の共創文化都市・金沢

～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

## 未来共創計画

【概要版】



金沢市

令和6(2024)年2月

# 金沢市都市像

## 1 趣旨

都市自治体は、視座を世界に据えれば、国際舞台において自らの個性や価値を主張することができます。各国からの旅行者が地方都市にも多く来訪している実状に鑑みれば、人々は既に国ではなく、都市を選んでいると言っても過言ではありません。

希有な歴史を有し、独自の発展を遂げてきた金沢が新たな高みへと飛躍するため、市政を取り巻く環境の変化を踏まえ、20年先、30年先の将来をも見据え、おおむね10年後の令和16(2034)年を目標年次とする新たなまちづくりの指針として、金沢市都市像を策定するものです。

## 2 市政を取り巻く環境の変化

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| (1) <u>人口減少・少子高齢化の進展</u>       | ・ 地域活力低下の懸念<br>・ あらゆる分野での担い手不足などの課題の顕在化                          |
| (2) <u>新型コロナウイルス感染症による変化</u>   | ・ 働き方や住まい方の多様化<br>・ 様々な場面でのデジタル・オンラインの活用                         |
| (3) <u>持続可能な開発目標(SDGs)の達成</u>  | ・ 多様性を認め合い、あらゆる人々が心豊かに幸せを感じられる社会の実現<br>・ 脱炭素社会への移行               |
| (4) <u>北陸新幹線延伸の好機と都市間競争の激化</u> | ・ 敦賀延伸を「第二の開業」と位置付けた交流人口の拡大や拠点性の向上<br>・ 日本海国土軸におけるリーダーとしての役割への期待 |
| (5) <u>安全・安心な都市の構築</u>         | ・ 防災・減災機能の強化、地域との協働による減災体制の強化など、自然災害への備え                         |

## 3 目指すべき将来像

# 「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」 ～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

- 金沢の個性は「文化」にあります。藩政時代より歴史に培われてきた伝統文化が、先人たちの不断の努力により連綿と継承されてきたことに加え、近年、「スポーツ」や「建築」、「木」などを価値付けし、新たな文化として市民と共に育てています。
- まちづくりの規範や市民の精神性など「年月を経て形成される、人と暮らしに関わるすべてのもの」も、広義の「文化」であり、世界にも通用する「金沢らしさ」の源泉と言えます。
- この個性を、将来にわたって継承するとともに、そこに住むすべての人の共通の拠り所として、市民生活や経済活動のみならず、福祉、環境、教育などの各般に、より一層身近なものとして生かしていく必要があります。
- 金沢が革新の息吹を取り入れながら、様々な時代を乗り越えて発展してきたように、不確かで見えにくい現代にあっては、今に息づく「文化」を基軸に、多様性や柔軟性にも価値を求め、常に新たな風を加えていくことも大切です。
- 地域に関わる多様な人々の視点・活力を取り入れるとともに、あらゆる分野において、誰一人取り残さない金沢独自の取組を探求し、「新たなまちづくりの文化」へと昇華させることで、しなやかに、心豊かで活力ある未来の金沢を、すべての人々と共に創りあげていきます。



## 各分野への横断的視点

本市の

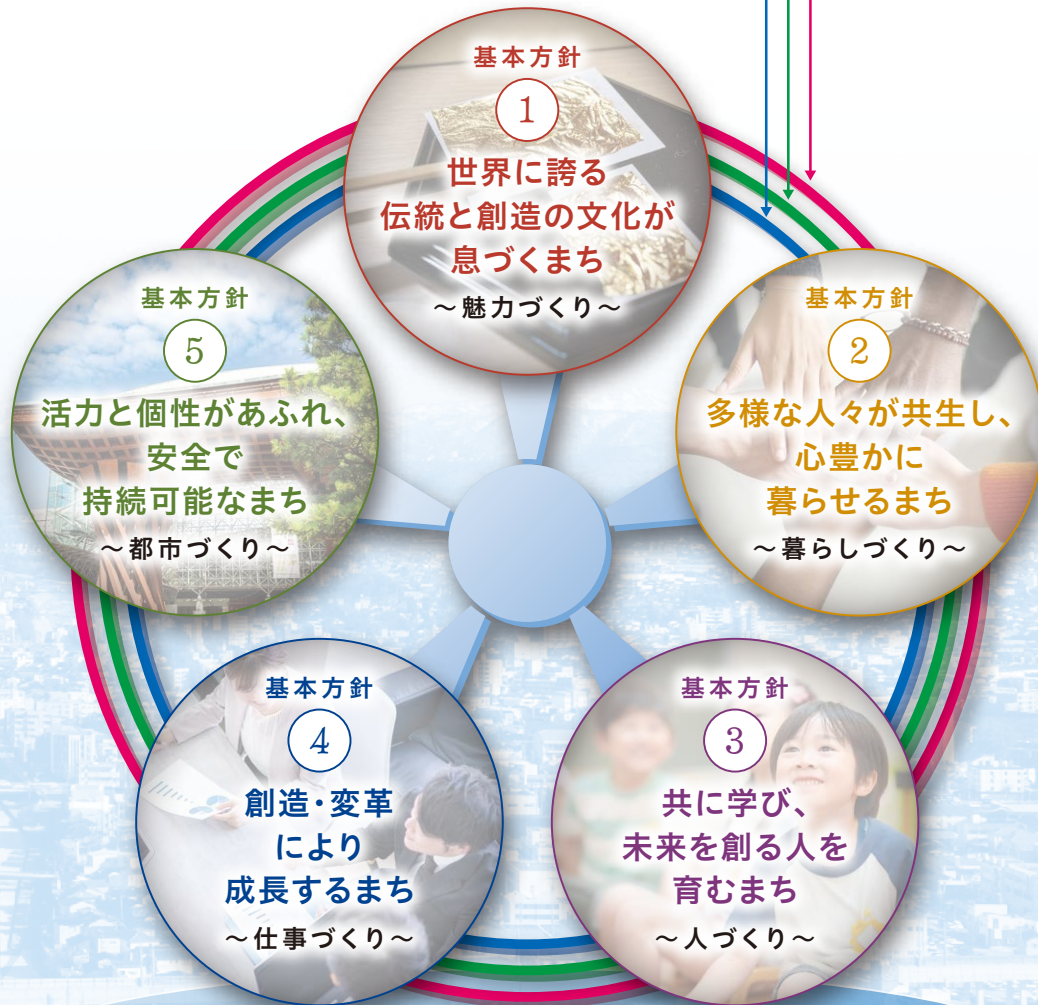
文化を強みに多様な分野への活用

若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる

多様な人々の視点や活力の活用

あらゆる分野における

デジタル化の推進



## 新たなまちづくりの文化へと昇華

多様な人々の視点や活力の取込 誰一人取り残さない金沢独自の取組の探究

### 金沢の文化

- ・先人たちの不断の努力により磨き高められながら連綿と継承されてきたもの
- ・革新の息吹が吹き込まれ、独自の展開も見せている文化芸術
- ・市民が培ってきた規範や精神性、年月を経て形成される、人と暮らしに関わるすべてのもの

金沢市都市像の実現に向け「未来共創計画」の実践に取り組みます！

## 未来共創計画の概要

### 1 位置付け

- ・まちづくりの指針である金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」の実現に向けた行動計画
- ・都市像に掲げる5つの基本方針ごとに講じるべき主要な施策を取りまとめた市政運営の最上位計画

### 2 計画期間

- ・令和6(2024)年度～令和15(2033)年度の10年間

### 3 KPI(重要業績評価指標)

- ・5つの基本方針に掲げる施策方針ごとにKPIを設定
- ・市民アンケート調査に基づく「市民意識指標」と、取組の直接的な成果等を示す「施策指標」で構成

### 4 進捗管理と計画の見直し

- ・前進期・充実期における評価やKPIの達成状況を勘案し、計画を見直し
- ・予算と連動を図りながら、施策の追加等を実施

	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)	R15年度 (2033)
		前進期		充実期				発展期			
策定	金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」(R5.12議決)										
	未来共創計画(R6.2策定)										
				見直し							

### 5 令和6年能登半島地震を教訓とした災害対応力の強化と公共インフラの強靱化

- ・令和6年能登半島地震を教訓とした災害対応力の強化等に向けた施策を計画に反映

### 6 推進体制

- ・庁内横断の「共創文化都市推進本部」を設置し、計画を着実に実践

# 5つの基本方針 各分野への横断的視点を取り入れ、施策を展開していきます。

## 基本方針 1 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～魅力づくり～

### 施策方針

- 1 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実
- 2 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展
- 3 まちの品格を高める新たな文化の創造
- 4 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上



文化芸術イベント



### ❁ 主なKPI(重要業績評価指標)

	基準値	最終目標値(R15年度)
市民意識指標	●文化芸術に触れたり体験したりする機会が多いと感じている市民の割合	85.3% (R5年度) → 90%以上を維持
	●伝統文化が受け継がれていると感じる市民の割合	62.4% (R5年度) → 75%
	●歴史・伝統・文化により、品格あるまちの魅力が向上していると感じる市民の割合	80.3% (R5年度) → 88%
	●金沢の食文化や工芸の魅力が、世界に知られている、認められていると感じる市民の割合	62.2% (R5年度) → 75%
施策指標	●年間宿泊客数 (日本人)	282万人(R1年) → 336万人
	(外国人)	61万人(R1年) → 92万人

## 基本方針 2 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ～暮らしづくり～

### 施策方針

- 1 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成
- 2 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現
- 3 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進
- 4 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成



地域行事に参加する学生

### ❁ 主なKPI(重要業績評価指標)

	基準値	最終目標値(R15年度)
市民意識指標	●まちづくり活動や地域活動に参加する市民の割合	52.9% (R5年度) → 63%
	●性別、国籍、障害の有無などが異なる多様な人々が、共に暮らしやすいまちだと感じている市民の割合	34.9% (R5年度) → 52%
	●夜間や休日においても必要な医療サービスを受けられる環境が整っていると感じる市民の割合	57.2% (R5年度) → 69%
	●生活の中で地球環境に配慮している市民の割合	85.5% (R5年度) → 90%以上を維持
施策指標	●温室効果ガス排出量	3,537千t-CO2 (H25年度) → 1,488千t-CO2



## 基本方針 ③ 共に学び、未来を創る人を育むまち ～人づくり～

## 施策方針

- 1 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援
- 2 すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践
- 3 学都の強みを生かした次代の担い手育成
- 4 学びの文化の形成と情操教育の推進



子どもの居場所づくり

## ✿ 主なKPI(重要業績評価指標)

	基準値	最終目標値(R15年度)
● 子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合	47.5% (R5年度)	➔ 71%
● すべての子どもにとって良好な教育環境が整っていると感じる市民の割合	47.9% (R5年度)	➔ 72%
● 若い世代が金沢に愛着を持っていると感じる市民の割合	43.5% (R5年度)	➔ 65%
● 地域の歴史や文化に興味がある市民の割合	48.8% (R5年度)	➔ 73%
● 文化芸術プログラムを実施する保育所等の施設数	90施設 (R5年度)	➔ 149施設

## 市民意識指標

## 施策指標

## 基本方針 ④ 創造・変革により成長するまち ～仕事づくり～

## 施策方針

- 1 地域経済をけん引する新たな産業の創出・育成
- 2 あらゆる世代の多様な人材の活躍と働き方の推進
- 3 にぎわいのある商業環境の形成とものづくり産業の継承・発展
- 4 次代につなぐ魅力ある農林水産業の振興



ICT人材育成のイメージ

## ✿ 主なKPI(重要業績評価指標)

	基準値	最終目標値(R15年度)
● 金沢の産業が活性化していると感じる市民の割合	48.6% (R5年度)	➔ 58%
● 職場や家庭において、性別等に関わらず誰もが共に活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合	48.2% (R5年度)	➔ 72%
● 商店街に魅力や集客力があると感じている市民の割合	37.1% (R5年度)	➔ 56%
● 金沢産材の供給量	8,000m <sup>3</sup> (R4年度)	➔ 14,000m <sup>3</sup> 以上
● 中央卸売市場の年間取扱数量	123,889t (R4年度)	➔ 150,000t以上

## 市民意識指標

## 施策指標

基本方針 5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ~都市づくり~

施策方針

- 1 魅力あふれる中心市街地の活性化
- 2 歴史や自然と調和した都市景観の形成
- 3 人と活力の還流による地域の再生
- 4 市民生活を支える交通ネットワークの確保
- 5 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践



金沢駅から片町に至る都心軸

✿ 主なKPI(重要業績評価指標)

	基準値	最終目標値(R15年度)
市民意識指標	● 中心市街地に魅力を感じている市民の割合	60.7% (R5年度) → 73%
	● 美しい都市景観が形成されていると感じる市民の割合	80.6% (R5年度) → 89%
	● 多様な人々の交流・活躍により、地域が元気になっていると感じる市民の割合	43.6% (R5年度) → 65%
	● 市内の多様な公共交通の利用環境が良いと感じている市民の割合	39.7% (R5年度) → 60%
	● 安全で、安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	80.2% (R5年度) → 88%
施策指標	● 老朽ビルの更新率(片町エリア)	29% (R4年度) → 38%
	● 計画路線における無電柱化の実施率	- (R5年度) → 76%
	● 県市の施策を活用した県外からの移住者数【累計】	506人 (R4年度までの累計) → 830人
	● 公共交通の利用者数	86,073人/日以上 (R3年度) → 130,000人/日以上

## 令和6年能登半島地震を教訓とした 災害対応力の強化と公共インフラの強靱化

◆ 令和6年能登半島地震からの復旧・復興

◆ 災害対応力の強化

防災体制の強化、消防・救急体制の強化、地域の防災力の強化、市民との協働による流域対策の強化、災害時医療救護体制の強化、感染症対策の強化・充実、既存建築物の耐震化促進と空き家対策の推進

◆ 公共インフラの強靱化

土砂災害対策の推進、総合治水対策の推進、水道施設等の強靱化、除雪体制の強化、民間活力を生かしたインフラマネジメントサイクルの構築、上下水道アセットマネジメントの推進、老朽建築物の建替えの促進



未来を拓く世界の共創文化都市・金沢  
～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

## 未来共創計画

---

発行年月 令和6(2024)年2月  
発行者 金沢市  
企画・編集 都市政策局 企画調整課  
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号  
TEL 076-220-2031 FAX 076-264-2535  
E-mail [kikaku@city.kanazawa.lg.jp](mailto:kikaku@city.kanazawa.lg.jp)

---